

2024年度 辛立文化センター購入図書

	タイトル	著 者	出版社	出版年	サイズ	ページ	内 容
1	部落差別解消への展望 人権意識調査結果から人権啓発の課題がみえた	神原文子	解放出版	2023	A5判	176	長年、各地の人権意識調査に携わってきた社会学者・専門社会調査士が、有効な質問項目の選定と分析手法を提示し、それで検証できた知見を紹介、人権施策の課題を明らかに。
2	全国のあいつぐ差別事件 2023年度版	部落解放・人権研究所	解放出版	2024	A5判	138	差別事件を地名総監・就職・結婚・教育・職場等項目ごとに紹介。
3	部落の私たちがリモートで好き勝手にしゃべってみた。	部落解放・人権研究所	解放出版	2022	B6判	100	各地で活躍する時代を担う部落出身5名の「おしゃべり」を通して、「部落問題の今」を知ることができる、入門書として最適の書です。
4	入門被差別部落の歴史	寺木伸明 黒川みどり	解放出版	2016	A5判	302	被差別部落史研究の現水準をふまえた入門的な通史。前近代（寺木）、近現代（黒川）を専門研究者が分担執筆し、図版・写真を多用した、わかりやすく信頼できる部落の歴史。
5	戦後の部落解放運動 その検証と再考	谷元昭信	解放出版	2023	四六判	312	戦後の部落解放運動の歴史を、その第一線で活躍してきた著者が、時系列で追いながら、運動論的な分析を加え、人権社会確立に果たした役割を明らかにし、今後の展望を示す。
6	豊かな部落史の学びのために DVDシリーズ「映像で見る人権の歴史」公式ガイドブック	上杉 聰 外川正明	解放出版	2024	A5判	96	本書は、日本における中世以降の差別を描いたDVDシリーズ「映像で見る人権の歴史」（全10巻）の概要を解説するとともに、学校現場での活用方法を提案する。 ※辛立文化センターにDVD（全10巻）あります。
7	読み直しの同和行政史	金井宏司	解放出版	2024	A5判	270	戦後の同和行政に関する特別措置法の時代は、2002年3月まで33年間続いたが、同和对策事業特別措置法がどのような議論や過程を経て成立したのか、関係者の聞き取りや実態調査、国会の記録などによって振り返る。
8	ごめん！聞いてごめんな みやらけの人々の聞き取り	大賀喜子	解放出版	2022	A5判	336	大阪の被差別部落「みやらけ」。結婚を機にムラにとけこんで、そこで出会った人々の忘れられた声をていねいに掘り起こした聞き書き集。口と耳で部落の近現代史を語り継ぐ。
9	フツーの校長、市長に直訴！ ガッツせんべいの人権教育論	久保 敬	解放出版	2022	A5判	160	小学校校長が「提言書」を大阪市長に直送。それはコロナ対策に始まり教育に対する熱い思いだった。共感した友人がネットにあげ瞬時に拡散。至る経緯と背景その後を語る。
10	革をつくる人びと 被差別部落、客家、ムスリム、ユダヤ人たちと「革の道」	西村祐子	解放出版	2017	四六判	267	世界各地の革づくりの担い手は、マイノリティであるもののその技術を尊敬され、誇りを持ってきた。日本では？現場をめぐりながら考え、皮革と人の新たな関係を提案する。
11	牛を屠る シリーズ向こう岸からの世界史	佐川光晴	双葉文庫	2014	文庫判	170	ナイフを握り、牛を相手に働き続けた屠場での10年の日々、仲間の姿。屠畜解体従事者への世間の恥知らずな差別と偏見はある。だが、誰がどう思おうと「牛を屠る」仕事は続けるに値する仕事なのだ。
12	屠畜のお仕事	栃木 裕	解放出版	2021	A5判	208	「豚や牛はどうやって屠るの？」「ホルモンはどうやって取り出すの？」「屠畜の仕事は楽しいの？」。屠場のベテラン職人が、屠畜に関する様々な疑問に答えます。
13	ごみ清掃のお仕事	押田五郎	解放出版	2022	A5判	266	「集めたごみはどう処理されるの？」「ごみ埋立地はいっぱいにならないの？」…。ごみに関する38の疑問にベテラン清掃員が答えます。持続的社會を考えるために最適本。
14	葬送のお仕事	井上理津子	解放出版	2023	A5判	256	「お通夜と告別式はなにがちがう？」「ご遺体はなぜキレイなの？」…。葬送に関する38の疑問がスッキリわかる！大切な人の「死」と「お見送り」を学ぶ一冊。

15	きみの家にも牛がいる	小森香折作 中川洋典絵	エルくらぶ	2005	A4判	32	牛は食べるために屠畜される。でも食べるだけじゃない。意外なものまで牛を材料に作られ生活を支えている。どのように解体され、どのように加工されるかを表した初めての絵本。
16	いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日	坂本義喜原案 内田美智子作 魚戸おさむ絵	講談社	2013	A4判	47	坂本さんは、食肉センターで牛を“解く”仕事をしています。息子のしのぶくんは、小学校の授業参観でおとうさんの仕事を聞かれて、「ふつうの肉屋です」とこたえました。その後、担任の先生に「おとうさんが仕事ばせん」と、肉ば食べれんとぞ」といわれたしのぶくんは、「おとうさんの仕事はすごかとかやね」と坂本さんにつたえます。そんなある日、坂本さんがつとめる食肉センターに、女の子と一頭の牛がやってきて……。
17	「子育て」頭の体操	大久保幸一	春陽堂	2012	四六判	155	学級崩壊?モンスターペアレント?いじめ、非行・・・と問題山積みの現代。ベテラン教師が「みんなでほんの少し前へ」を提案。考えあう子育て論。